

令和6年取り扱い量史上4位の好漁

雄武漁業協同組合の第62回通常総会が3月12日（水）に開催され、令和6年事業報告と令和7年事業計画が承認されました。

令和6年は主力のホタテ漁が水揚量 20,893 t と2年連続で2万 t を超える結果となったほか、多くの漁で計画を上回る結果となり、史上4位の取扱量となりました。なお、令和7年はホタテ漁の水揚量を 19,000 t と計画しています。

令和7年海明け 漁期開始！

オホーツク海の毛ガニ漁が3月18日から順次開幕し、雄武町では20日から水揚げされています。3月前半に時期外れの流水接岸もありましたが、6月末で無事終漁となり漁獲量は昨年よりも好漁となっております。

ホタテ漁については、3月中旬から始まった漁場造成が5月末で終漁し、その後、6月上旬から本操業が始まりました。



第 30 回お魚を殖やす植樹運動

雄武漁協が主催する「お魚を殖やす植樹運動」が、6月3日に雄武町幌内で開催されました。漁協女性部や漁業者、関係団体など100名以上が参加しました。

オホーツク総合振興局産業振興部林務課の担当者から植樹指導を受けた後、参加者は高さ20 cm程のミズナラの苗木800本を1本ずつ丁寧に植えました。

1996年から続くこの運動は、今年で30回目の節目を迎え、累計した植樹の本数は26,500本となっています。

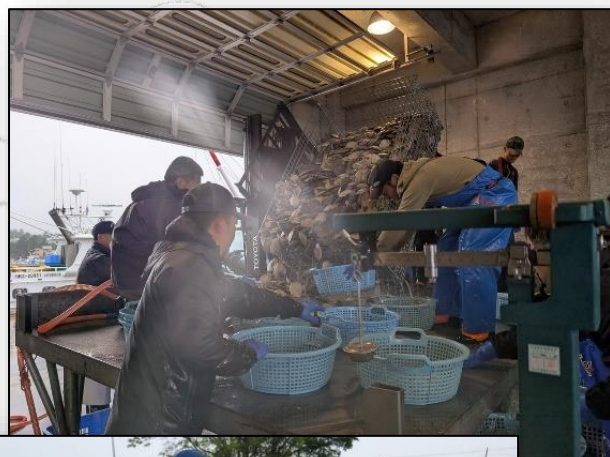


「ホタテ」「バター」「醤油」町民へ無料配布

5月31日、雄武漁協による町民向けのホタテ貝無料配布が行われました。町民への日頃の感謝を伝えようと平成25年度から実施しているものです。

配布されたホタテ貝は6.2t。当日の朝、雄武漁港の養殖作業用施設において、漁協職員と漁業者、町職員合わせて約30人が袋詰め作業を行いました。

また、今年も昨年に引き続き、殻付きのホタテ約4kgに加えて、北オホーツク農協からはバター2個とスキムミルク1袋を、(株)神門からは昆布醤油が提供され、ホタテと併せて配布されました。



第47回おうむ産業観光まつり開催



第47回おうむ産業観光まつりが、6月28日（土）と29日（日）の2日間で開催され、町内外から約1.5万人が来場されました。

前夜祭恒例となる花火大会では、約10分間に亘って色とりどりの花火が観客を魅了し、雄武に夏の始まりを感じさせてくれました！

晴天に恵まれた本祭では、沢木小学校児童による沢木太鼓の演奏や、一輪車キッズと大人吹奏楽バンドの共演、地元の食材を取り扱った競り市などの体験型イベントが訪れた観客を笑顔にし、今年の産業観光まつりも大盛況のうちに終了となりました。

※マリンビジョンとは？

活力ある水産業や漁村の将来像を実現するため、水産物の安定供給体制や環境保全と循環型社会の構築、漁村地域の総合的な振興を目指す将来ビジョンです。



【編集・発行】

雄武地域マリンビジョン事務局

【問い合わせ先】

雄武町役場 産業振興課 水産係

Tel：0158-84-2121 Fax：0158-84-2844

E-mail：suisan@town.oumu.hokkaido.jp